



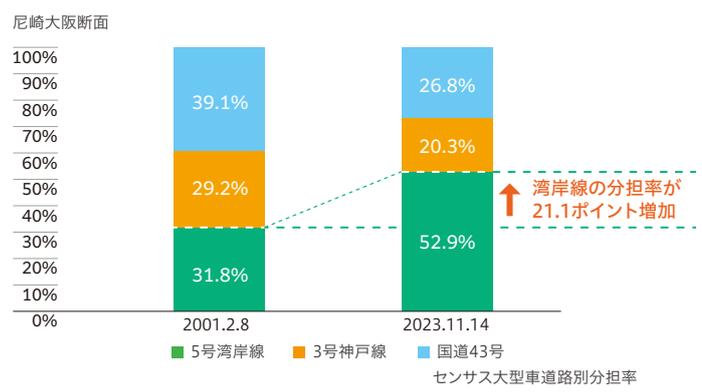
より良い都市環境の創造と共生

阪神高速グループでは、遮音壁の設置、舗装の改良や環境ロードプライシングの実施などを通じ、騒音の低減や大気質の改善に取り組んでいます。また、地域との連携や社会への貢献のため、景観などの周辺環境との調和に取り組んでいます。

沿道環境の保全

環境ロードプライシングの実施

環境ロードプライシングとは、沿道環境の改善を図ることを目的として、並行する道路間の料金格差で、都心部や住宅地への交通流入を抑制する手法です。阪神高速では、国道43号・阪神高速3号神戸線沿道の大気環境改善のため、2001年11月から5号湾岸線の貨物車などの料金を割引く「環境ロードプライシング割引」を実施しています。これにより交通転換が進み、2023年11月には5号湾岸線の分担率が実施前に比べて21.1ポイント増加し52.9%となっています。



環境啓発とコミュニケーション

環境行動に係るマネジメントを実施し、社員に対する環境啓発研修などの実施を通じて、環境に高い配慮ができる人材育成と社員の環境行動意識の向上に取り組んでいます。また、阪神高速ホームページやSNS、環境イベントなどを通じて環境情報を積極的に発信し、ステークホルダーとのコミュニケーションを図っています。

環境コミュニケーションの実施

阪神高速グループの森づくり(生物多様性)

兵庫県立尼崎の森中央緑地[※]での「阪神高速グループの森」づくりは7年目に入り、社員自ら除草や間伐作業を行い、多様性豊かな15種類の苗木は順調に成長し、森には昆虫や鳥が集まるなど、地域の生物多様性保全にも貢献しています。

※ 尼崎の森中央緑地は、2023年10月、国の認定制度である生物多様性の保全が図られている区域「自然共生サイト」に認定されました。



阪神高速グループの森